



新年のご挨拶

会長 山本 岩男

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族とご一緒に健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルスの感染状況は、年初から暫く小康状態が続いていましたが8月～9月にかけての第7波、11月～12月にかけての第8波のオミクロン株の流行によって、収束する気配がみられない状態が続いていました。しかし、世間の新型コロナウイルスに対する感覚は大きく変化し、政府の制限緩和策とあいまって、旅行や繁華街で多くの人が出かける姿が見受けられるようになりました。東村山市の公共施設の利用は、少しずつ制限が緩和されていますが、施設内での飲食等の禁止によって、当会の活動も少なからず影響を受けています。新型コロナウイルスは、老人や基礎疾患を持った人が重篤化すると言われていています。稲門会会員は、高齢者の方も多いので、今後とも基本的な感染対策を取りながら、工夫して活動を続けなくてはならないと思っています。

昨年度の東村山稲門会の特筆的なことは、会員募集活動等によって比較的若い新入会員が17名入会したことです。すでに納涼会や誕生会、同好会活動に積極的に参加していただき、会の活性化が図られています。又、役員や世話人の若返りを図ることが要請されていますが、今後新入会員の中から将来を担う新しいリーダーやスタッフが生まれることを期待しています。今年も会員の皆様と一致協力して、東村山稲門会が更に魅力ある楽しい会になることを願っています。

稲門会活動の第一の目的は、会員相互の親睦と研鑽です。私は東村山稲門会に入会して10年を超えましたが、早稲田大学の卒業生には、本当に素晴らしい経験と知見をもった方々が沢山います。元会長の小亀さんがおっしゃっていた「早稲田の卒業生はすごい！」との言葉を実感しています。会員の皆様におかれましては、会の行事や同好会活動に積極的に参加され、会員との交流を深め、豊かで楽しい生活を送られることを願っています。

今年も会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念して、簡単ではございますが新年のご挨拶とさせていただきます。



「東村山市わたしたちのSDGsパートナー」に認定されました

東村山市は、SDGsの達成に向けた取り組みを進めています。その一環として、SDGs達成に向けて積極的に推進している、市内の団体、個人の募集・申請を受け、SDGsパートナーとして認定しています。

東村山稲門会は市民雑学講座を通じて、市の文化向上及び地域課題の解決を図り、だれも取り残されないまちづくりを市とともに推進しています。対象となる持続可能な開発目標（SDGs）は、以下の3つのゴールです。

- ◆ゴール3（すべての人に健康と福祉を）
- ◆ゴール4（質の高い教育をみんなに）
- ◆ゴール11（住み続けられるまちづくりを）

今般、市へ認定の申請を行い、11月1日に認定されました。なお、11月20日の通常総会の際にて、松谷いづみ副市長（東村山稲門会会員）から山本会長に対して、認定証の授与がありました。（町田 光高 記）



第 27 回通常総会開催報告

東村山稲門会の第 27 回通常総会は、令和 4 年 11 月 20 日（日）サンパルネ・コンベンションホールで、来賓 3 名、会員 64 名の総勢 67 名が参加して開催された。今回の総会も、新型コロナウイルスの収束が見通せないため、近隣稲門会の役員をご来賓としてお招きすることは見送ることにした。講演会も懇親会もない総会となったが、早稲田大学からは、天野紀明理事、服部令東京三多摩地区地域コーディネーター（国際教養学部・国際コミュニケーション研究科事務長）、松谷いづみ東村山市副市長に参加いただいた。

町田(光)副会長の司会で始まり、会の冒頭に昨年逝去された 6 名の会員のご冥福を祈り黙祷をささげた。

会則により山本会長が議長に就任し、令和 3 年度の活動報告・会計報告・監査報告が上程され異議なく承認された。続いて令和 4 年度の活動計画案・予算案が上程され可決承認された。役員改選期にあたるため、役員選任案が上程され可決承認された。山本会長は、重点課題として、ウィズコロナ時代に対応した活動施策、新入会員及び入会見込み者のフォローの強化、大学・大学校友会・近隣稲門会との連携強化を掲げ、稲門会活動の一層の活性化を図りたいとの抱負を語った。

続いて来賓の天野理事から大学の近況等について、服部地域コーディネーターから国際教養学部等についてご説明とご挨拶をいただいた。また、当会会員でもある松谷副市長から当会の市民雑学講座の活動に対し、市より当会が「SDGs パートナー」に認定された旨の報告があり、山本会長に認定証が交付された。

議事終了後、新役員として、小野浩一さん・小森敏孝さん・小田弘史さん・平井康雄さんが、退任役員として、滝来京子さん・小菅宏さんが紹介され、挨拶された。新入会員募集活動を強化したことにより、この 1 年間で 17 名が入会され、そのうち総会に出席された 15 名が紹介された。また、同好会活動の紹介の一環として、会場内に展示されていた書道同好会の作品（早稲田の栄光）が紹介された。続いて、一瞬マスクを外して全員で記念撮影した。最後に、恒例の東村山稲門会の歌、早稲田の栄光、早稲田大学校歌を小森理事指揮によって声高らかに歌い、お開きになった。

○出席者 67 名（会員 65 名）（敬称略）

青木 淳、青山 稔、市川 暢男、井原 徹、伊吹 史郎、大内 一男、大曾根 文男、太田 陽一、大森 平八郎、岡田 一郎、尾島 敏雄、小田 弘史、小野 浩一、風間 和夫、加藤 正俊、上町 弓子、喜多村 樹美男、工藤 崇士、紅松 喬、紅松 容子、黒田 祐司、小菅 宏、小森 敏孝、斎田 修、坂本 英夫、崎山 裕子、佐久間 卓、佐々木 晶敏、定方 美果子、澤村 信義、清水 聡、杉本 優、鈴川 順子、副島 健、高木 学、高橋 正夫、高柳 剛、滝川 桜子、滝来京子、滝来 洋二、田口 政澄、武井 勇治、田島 隆夫、太刀岡 貴司、千葉 直人、當間 昭治、戸田 志郎、中沢 義則、中島 章隆、野村 茂樹、平井 康雄、福田 晃、藤井 省、真泉 順一、前田 恒文、町田 和夫、町田 光高、松井 明、松谷 いづみ、三宅 良太、森本 吏、守屋 幸一郎、山本 岩男、吉原 宗孝、吉村 正

（高柳 剛 記、大内 一男 写真）



第 59 回「本庄～早稲田 100 キロハイク」の応援・支援活動

2 年間開催を中止し、さらに今年度の開催も危ぶまれた「本庄～早稲田 100 キロハイク」は、今春 3 月中旬に大学および主催の早稲田精神高揚会が 5 月 7～8 日に開催することを大々的に発表しました。

3 年振りに行う当会の学生への応援・支援イベントの具体的な企画・実施に向けた諸準備を 3 月 22 日に着手し、急きょ当催事の案内を 4 月 9 日発行の東村山稲門会ニュース掲載に間に合わせる事ができました。その直後に思わぬコロナ禍が拡大して急きょ 6 月 5 日に開催延期が発表されたもののこの 6 月開催も困難となり、ついに秋に延期開催が 5 月中旬に発表されてその都度ニュースに掲載した経緯があります。

この再三の開催延期に対して、関口怜央実行委員長（スポーツ科学部 4 年）とその関係者に 3 年振りの催事実現への困難を乗り越える激励メールと、時には電話で奮起を促す挨拶を試みました。随時彼らからも難事に真摯に真向かう姿勢が伺われる謝礼のメールや電話挨拶が寄せられました。

主催学生側は催事の諸準備をしながら、2 年に及ぶ開催中止と今年度の再三の開催延期により既に予想外の高額出費が続き、初めて実行委員学生が今春に試みたクラウドファンディングでは 350 万円が集まったことを伝えています。

なお、この 6 月開催は 6 月 5 日（日）または 12 日（日）の一日のみに、コースも所沢キャンパス～早稲田大隈講堂間（約 50km）に変更実施することの連絡を受けていましたが、会員皆様にご案内する前に主催学生側から開催中止の急報がありました。

10 月中旬に初の秋季開催が決まった「早稲田 100 キロハイク」催事と既に告知されている総会と同日の 11 月 20 日であることから、総会参加者の極大化を図る意図から 100 キロイクの 11 月号ニュース（11 月 12 日発行）掲載を急きょ中止しました。参加学生に完歩激励のエールを送る応援参加者は小規模ながら、ハイクコースの近隣居住の富士見町および美住町等の会員に限って関係担当者がお声掛けし、8 名前後の参加をいただくことを 10 月 28 日開催の臨時役員会で諮り、了承されました。

学生の希望で喉を潤す天然水 13 箱（サントリーの南アルプス 550ml・24 本入り／1 箱：計 312 本）を用意しましたが、当日の学生が通過する時間帯は初冬の寒さが加わり、配布する天然水の受け取りを拒む学生も散見され、92 本が余りました。

当日は新入会員お二人（下記*）はじめ計 14 名の会員諸氏が参加され、当初に予定していたウィズコロナに相応しい応援、支援活動を実行できました。参加いただきました会員はじめ関係者諸兄姉に感謝を申し上げます。

参加いただいた会員 14 名：出田邦博、井原 徹、小野浩一、加藤正俊、工藤崇士、*佐久間 卓、高柳 剛、太刀岡 貴司、*千葉直人、野村茂樹、町田光高、三宅良太、山本岩男、岡田一郎（岡田 一郎 記）

役員会だより

12 月 10 日（土）役員会の概要報告

1. 行事関連

- ①映画会（12 月 17 日〈土〉）
 - ・実施要領の説明を行い、各自の作業確認を行った。
- ②新年会（1 月 14 日〈土〉）
 - ・催し物の候補の紹介と今後の対応策を確認した。
 - ・新入会員については、行事の初回参加時、会費無料の内規がある。この内規の内容を明確化した。
- ③総会（11 月 20 日〈日〉）
 - ・今回のように飲食無しの際は、長めの休憩時間が必須であることを確認した。

2. 今年度行事の担当について

- ・行事の主担当となる方を確認した。
- ・次回の誕生会は 10 月～2 月生まれの方を対象に、2 月に開催予定である。

3. 電子データの保存について

- ・昨年度も実施したが、本年度も実施する。12 月末までに保存すべき対象データを集約する。

4. ホームページのメンテナンス担当者

- ・課題の再認識をした。今までも指摘されていたが、担当者が不足しているという課題がある。

会からのお知らせ

○令和 5 年 2 月定例役員会

日 時 2 月 11 日（土）14:00～16:30
場 所 ふるさと歴史館 *場所に注意願います

○退 会

山本 優香さん（自己都合）

<令和 4 年度年会費納入のお願い>

昨年 11 月 20 日開催の第 27 回総会で令和 4 年度の予算や活動計画が承認され、今年度の稲門会活動が本格的にスタートしました。

つきましては、令和 4 年度（令和 4 年 11 月～5 年 10 月）の年会費 5,000 円を、下記のいずれかの方法で **1 月 31 日まで**にお振込みいただきますようお願いいたします。

- ① 郵便振替口座 番号 00160-0-112250 名義 東村山稲門会
同封しました専用の払込取扱票をご利用ください。
また、振込み後、領収印の付いた振込票は必ず保管をお願いいたします。
- ② みずほ銀行久米川支店 普通預金口座 1876557 名義 早稲田大学東村山稲門会

*なお、11 月の総会に出席された会員の皆様には、会場にて納入いただいております。

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

カラオケ同好会

世話人：黒田 祐司 TEL 080-9567-6994
高橋 文子

コロナ以降中断した対面によるカラオケ例会第 5 回目



対面による第 5 回例会を 11 月 24 日(木)14:00～17:00 多摩湖ふれあいセンターでコロナ対策をして開催しました。参加者は 7 名でした。カラオケは 2 時間とし 1 時間は近況報告になりました。今年 9 月入会した定方美果子さんが初参加、自己紹介、稲門会入会の理由、会での経歴、健康等の話題に花が咲きました。小田さんが途中退場、上町さんが途中参加でした。大勢の新会員が参加した 11 月 20 日(日)総会後のほっとした楽しい時間でした。

- ・高橋（正）：人生劇場、三百六十五夜、長崎の鐘、誰もいない海、哀愁の街に霧が降る。
- ・井 垣：誰が故郷を想わざる、川の流れの様に、酒よ、南部牛追い唄、悲しい酒、南部蝉しぐれ。
- ・山本（岩）：命くれない、白いブランコ、さざんかの宿、シクラメンのかほり、あなたのすべてを。
- ・小 田：戦士の休息、せんせい、ガンダーラ、銭形平次。
- ・定 方：ブルーライトヨコハマ、時の流れに身をまかせ、恋におちて、悪女。
- ・黒 田：津軽平野、時代おくれ、異邦人、雪椿。

次の 2 回の開催日は下記の通りです。いずれも多摩湖ふれあいセンター、参加費無料。

- *1 月 12 日(木) 14:00～17:00
- *2 月 16 日(木) 14:00～17:00

参加人数は先着 10 名（2m 以上距離を取る必要が有る）。お申込みは黒田まで、電話又ショートメール（080-9567-6994）、又は電子メール（yuji-kuroda@msa.biglobe.ne.jp）にてお願いします。

新型コロナに負けず、健康、認知症防止の為にカラオケを楽しみましょう。（黒田 祐司 記）

囲碁同好会

世話人：青木 淳 TEL 090-6520-3545



先の稲門会総会にて囲碁同好会の PR をしたところ、早速囲碁初心者の杉本さんより活動状況を見学したい旨の反応がありました。

次回例会は 1 月となるため 12 月 7 日に初心者囲碁講習会を中央公民館にて開催しました。

参加者 6 名：千葉、町田（和）、町田（光）、杉本、講師 福田七段、世話人 青木。

杉本さんには満足していただだけ、早速会員登録をしていただきました。

昨年度は町田光高事務局長のご尽力により当同好会の新規会員 6 名を獲得することができました。改めて感謝申し上げます。

また、当会員の堀田さんより当会の活動に対し、ご厚志を賜りました。感謝申し上げますとともに、皆様に報告申し上げます

次回例会は、1 月 13 日（金）12:30 より市民センター第 6 会議室です。

グローバルサロン英語の会

世話人：山本 岩男 TEL 090-6011-8139

黒田 祐司 TEL 080-9567-6994

Listen:



10月21日(金) ZOOM オンラインにより第85回の会を開催しました。

1. 雑学英語 担当 宮元 海外処々 topics

観光にて初めてロンドンを訪れた。タクシーで空港からホテルに行くも、タクシーにカバンを忘れ、パスポート、お金すべてなし。警察に報告してホテルに戻ると、タクシー運転手のメッセージ「カバンを保管している。本人確認して返す」とのことで、返してもらった。1986年のこと、今でもロンドンのタクシーは信頼できるのですかね？

2. Listening and Reading (VOA より) 担当 山本

Facebook Parent Company Meta Cuts 11,000 Jobs

ソーシャルメディアサービス Facebook を所有する Meta は 11,000 人を削減すると発表した。会社の最高責任者であるマーク・ザッカーバーグは 2004 年に Facebook を立ち上げた。従業員への手紙の中で、彼は、COVID-19 の制限が終了した後、経済がどのように変化するかを見誤って判断したと言っている。

3. 雑学英語 担当 黒田

アメリカジョーク集：ジョークの違いから文化が見える！（17）

What do the birds sing on Halloween? Twick or Tweet!

（ハロウィーン時には鳥はどう鳴くか？ Twick は小鳥が止まっている小枝 (twig) と Trick を掛け合わせた造語です。Tweet は小鳥のさえずり。この発音がハロウィーン時に子供たちが叫ぶ「Trick or Treat」いたずら、それがいやならおごれを模しています。）

10月31日日没後、子供達が動き出す。衣装付け近所に繰り出す。幼児も親に付き添われ加わる。向かう先は芝の前庭にハロウィーンの飾付（かぼちゃ、魔女、お化け、骸骨等）が有り部屋が点灯している家々。玄関で子供達は叫ぶ「Trick or Treat」。家の人は答える「Treat」。子供達は持参したバック又はかぼちゃのデザインをあしらった入れ物を差し出す。家の人はお菓子を差し入れる。もらった子供は引き下がり、並んで待つ次の子供が叫ぶ「Trick or Treat」。子供達の波は押し寄せる。お菓子がなくなったら前庭の飾付と部屋を消灯する。

*参加者3名（敬称略）宮元、黒田、山本（岩）

・1月以降の開催日 1月20日(金) ZOOM オンラインで開催

2月17日(金) ZOOM オンラインで開催

(山本 岩男 記)

テニス同好会

代表世話人：富澤 文雄 TEL 080-5086-8461



昨年11月に世話人を引き受けた後、従来の問題点を解決、よりテニスを楽しんでもらう、世話人として楽に運営を行うために、下記の施策を行ってきました。なお、中には反対意見もありました。《 》内は従来方法。

1. 全員世話人（役割分担：例会日計画、球の管理、参加費の管理等）《複数の世話人がすべて実施》

2. 参加費を一定額(3000円)毎デポジットし、参加毎に差し引く《参加毎に300円を支う》。

従来の問題点 世話人：百円玉が手元に大量に貯まり処理が大変。参加者：毎回参加費を持参。

3. LINE の活用

①LINEにより事前に参加者、参加人数、参加者の早退時刻の把握が可能《当日コートで把握》。

世話人：当日の練習計画、試合の組み合わせが容易。参加者：自己予定に合った時間帯に参加可能。

②天候等による中止を一斉に連絡可能《個人の判断》、その他諸々の情報共有が可能。

4. 合宿の大会開催方法を誰でも優勝者になれる方法に変更：詳細はニュース11月号参照。

5. テニス同好会勧誘キャンペーンの実施(6月～10月)：効果は不明なるも2人入会。

6. 参加費、参加人数及びコート代等の会計管理・会計報告書作成は簡単入力に因るパソコンで実施。

今年は、上記施策を基本的に継承し、さらに入会者を増やすべく方法、季節毎に例会時間帯の検討を会員と相談して実施予定。

*11月中旬～12月中旬の例会日と参加者（敬称略・五十音順）

- ・11月28日(10名)：市川(彰)夫人、定方、滝来(京)、田島、富澤、野村、平井、山口、吉田(劭)、吉原
- ・12月5日(10名)：黒田、滝来(京)、千葉、當間、富澤、野村、平井、山口、吉田(劭)、吉原
- ・12月14日(9名)：石塚、定方、滝来(京)、富澤、野村、平井、山口、吉田(劭)、吉田勝

書道同好会

世話人：大森 平八郎 TEL 042-391-0535



11月30日 第61回 参加者 7名(敬称略)：赤荻(元会員夫人)、上素子、田代、三宅、吉澤、大森夫妻。10月に「早稲田の栄光」の寄せ書きが完了、5か月間に及ぶ皆の努力に敬意を表します。その後台紙に作品を貼り付けた上で、11月の総会会場に展示し、校歌の前に寄せ書きを見つ、全員で斉唱しました。

今回は壁に掲げて出席者全員で寄せ書きを鑑賞した後、久し振りに年賀状の練習、大筆での法帖を臨書等各々が自由に書き楽しみました。来る新年会に寄せ書きを再び展示させていただき積りです。

- ・第63回開催日 1月31日(火)
- ・第64回開催日 2月28日(火)

- 開催日：毎月末日。
但し、公民館は月曜日が休館の為、
月末が月曜日の時は前日(日曜日)
- 開催時間：午後3時40分～5時
- 開催場所：萩山公民館
(住所：萩山町2-13-1 TEL 042-393-3170)

ワセスポ応援の会

担当世話人：富澤 文雄 TEL 080-5086-8461
小森 敏孝 TEL 090-5199-5300

一雨の中の早慶戦一戦術の見直し一



前半、雨の中のハイパント等でのノックオンで、ゴール際でのノットストレイトで、またブレイクダウン攻防でボールを奪取され、チャンスを失う。逆に、慶応はハイパント、ブレイクダウンからチャンスを作り2ゴール

10:0とリードした。後半は、監督の指示によりブレイクダウンに対する意識を変え、ハイパントを止めて直線的な攻撃で3T1Gを挙げ、19:13で勝利した。終わって見ればハラハラドキドキの好ゲームだった。ドーハのサッカーと同様に監督による後半の戦術転換の重要性を認識させられた。なお、今年は、早慶戦100周年で早稲田の72勝7分け20敗、現在12連勝中である。



平井 滝来京 山本 大内 田邊 滝来洋
(他席応援者：伊川,高橋正,堀田)

一新国立競技場での明治戦 (BKも明治?)

スピードが全く違う。明治は、攻めのラインが浅く、球回しが速く、しかも多彩である。防御においてもラインを浅くしてつぶしが速く正確である。早稲田のお株を奪う攻撃である。特に後者は重戦車のなせる技か。逆に早稲田は、ラインが深くゲインが取れなく、球をタッチラインまで回せない。早稲田もキックでタッチライン沿いに球を回そうとしたがインターセプトされトライされてしまった。前半は、開始早々連続3Tを許し立ち上がりには課題を残した。それでも、前半はその後2Tを挙げ7点差とした。後半は、一転して早稲田のペースで始まったが、後半3分に前記インターセプトを許し、流れがつかみきれない。最終的には、21:35で敗北し、対抗戦3位となった。

参加者：伊川、大内、小森、坂本、崎山、定方、高橋(正)、滝来(京)、滝来(洋)、田邊、富澤夫妻、
平井、堀田、山本(岩) (富澤 文雄 記 写真)

俳句同好会

世話人：井垣 和太 TEL 04-2924-2934
黒田 祐司 TEL 080-9567-6994

第126回「稲酔」句会は12月8日(木)に開催されました。平成8年に、同好会発足以来、2ヶ月に一度の開催を欠かさずに、実施。偶数月の第4木曜日の午後、参集し2ヶ月間に作った当季の作品5句を持ち寄って無記名で投句。作者不明の人数分×5句を、自分のノートに書き写し(清記)、出揃ったところで、共感共鳴した句を5句選びます(選句)。

さあ、ここからが、句会の佳境というべき時間です。「披講」という言葉をご存じでしょうか。ここでは各自が、自分が選考した他の参加者の作品を読み上げることです。つまり、7人が参加なら、他の6人にどのように評価されるのか……。俳句会の巨匠に一句選ばれるのも感動ですが、同じ勉強仲間(各人句歴に長短あり)に句に託した想いが如何に受け止められたのかが、親しく親切に伝わって来て、俳句の楽しさが倍増することも確実。

かれこれ言うより、凡そ3時間の同じ空間でのやりとりで、貴男も貴女もみんな芭蕉や一茶気分。時には吟行句会で、公園や名所へ2時間くらいの「属目吟」で楽しく真面目に遊ぶ事もあります。本年は、豆乳、ねここ、鶴来(つるぎ)の3名の仲間が増え、賑やかな会です。

次回127回は2月23日(祝)開催予定日です。

(稲雀 記)

会員だより

新入
会員

「入会のご挨拶」

岡村 忠彦（平1法。本町在住）



この度、東村山稲門会に入会させていただきました岡村忠彦と申します。
私は平成元年に法学部を卒業後、総合商社に就職いたしました。教員への転職を志し、教職員免許を取得すべく30歳の時に再び早稲田の門を叩きました。平成8年に社会科学部に学士入学し、平成10年に2度目の卒業を果たしました。

当初は高等学校の教員となる青写真を描いておりましたが、縁があつて現在は、街の接骨院や整形外科などで治療にあつている「柔道整復師」を養成する専門学校にて教鞭をとっております。

学生時代に体育局柔道部に所属していたこともあり、現在は専門学校や講道館などで柔道の指導を行うことを主な生業としております。

以前非常勤講師として勤務していた早稲田大学の附属・系属高で知り合った妻と平成18年に結婚し、それを機に東村山の地に約17年間住んでおります。

東村山という土地は都心への交通アクセスも良く、また閑静な街並みも大変気に入っているため、今後も住み続けたいと個人的には感じております。

趣味は、スポーツ観戦、お酒を飲むことです。スポーツ観戦は特に野球、格闘技が好きです。お酒に関しては、それほど強くはありませんが日本酒、焼酎、ワインなど全般的にたしなんでおります。

まだ仕事も現役で、時間的な制約も多く、今はなかなか会の行事に参加できないことも多いと思いますが、早稲田を通じた皆様とのお縁を大事にしたいと考えておりますので今後ともよろしくご挨拶申し上げます。

新入
会員

二度目のリセット

鈴木 順子（昭49教育。富士見町在住）



生まれ育った横浜で父は近隣で最初に二階建ての家をたてました。

私の部屋からは富士山と丹沢山系が良く見えました。

横浜山の手にある横浜共立学園に進みましたが時代は学生運動真っ盛り。そんな中で早稲田に興味を持ったように思います。

アナウンス研究会に入り学内デモの横で機材とマイクを持ち仲間と動き回り、催涙ガスを何度か経験したことも今では良い思い出です。

そうそう学生時代と言えば代々木駅近くの「ジュネーブ」という喫茶店でリクエストを取りながら毎週二回DJのまねごとをしていました。あの地下の暗がり仲間と過ごした四年間が私の青春なのかもしれません。

卒業後、札幌のSTVに就職し、アナウンサーとなりました。人生第一回目のリセットでした。

以来半世紀近くを札幌で過ごしました。永住するつもりでしたが、コロナにより状況が一変。家族、特におそくに生まれた孫の可愛い時期を見のがしてしまいそうので東京移住を決意。まさかの70才での人生第二のリセットです。

東村山に来て一年がたちました。今マンションのベランダから富士山がとても大きく、さえぎるものもなく見えます。孫と富士山、そしてこの冬の青空。今ではこの東村山が大好きになりました。これから皆さんとご一緒する中でより楽しんでいけたらと思います。

同好会・行事		1 月				2 月				世話人 (問合せ先)			
		日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所				
ウォーキング・郷土史の会		—	—	—	—	*	*	*	*	町田(和)	090-9133-0567		
テニス同好会	11	水	9:00~13:00	運動公園C	6	月	9:00~13:00	運動公園C	富澤	080-5086-8461			
	16	月	9:00~13:00	運動公園C	13	月	9:00~13:00	運動公園C					
	21	土	12:00~14:00	柳泉園E	17	金	9:00~11:00	運動公園C					
	25	水	9:00~11:00	運動公園C	—	—	12:00~14:00	柳泉園E					
	30	月	9:00~13:00	久米川3番	22	水	9:00~11:00	運動公園D					
—	—	—	—	—	—	12:00~14:00	柳泉園E	25	土	10:00~14:00	柳泉園E	青木	042-396-3545
囲碁同好会	13	金	12:30~16:30	市民センター第6会議室	—	—	—	—	黒田	080-9567-6994			
カラオケ同好会	12	木	14:00~17:00	多摩湖ふれあいセンター	16	木	14:00~17:00	多摩湖ふれあいセンター	當間	042-391-6023			
園芸の会	—	—	—	—	—	—	—	—	阿部	042-332-0298			
麻雀同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	北野	04-2925-7893			
音楽同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	井垣	04-2924-2934			
俳句同好会	—	—	—	—	23	木	14:00~17:00	社会福祉センター	紅松 喬	042-393-6924			
ゴルフ同好会	—	—	—	—	—	—	—	—	山本(岩)	090-6011-8139			
グローバルサロン英語の会	20	金	14:00~16:30	ZOOMオンライン	17	金	14:00~16:30	ZOOMオンライン	滝川	042-394-8187			
女子会	—	—	—	—	—	—	—	—	小森	090-5199-5300			
早稲田スポーツを 応援する会	—	—	—	—	—	—	—	—	富澤	080-5086-8461			
書道同好会	31	火	15:40~17:00	萩山公民館	28	火	15:40~17:00	萩山公民館	大森	042-391-0535			
写真を楽しむ会	17	火	14:00~16:30	ZOOMオンライン	—	—	—	—	藤井	080-1112-6182			
パソコン同好会	7	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	4	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	小菅	090-6938-9694			
	21	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	18	土	13:00~15:00	シルバー人材センター					
新年会	14	土	14:00~16:30	サンパルネホール	—	—	—	—	岡田	080-1078-4641			
誕生会	—	—	—	—	25	土	*	*	紅松(容)	042-393-6924			

★イベント・同好会等の最新予定は、ホームページのカレンダーを参照下さい。

スマホ・タブレットなら右の画像をカメラで読み取るとカレンダーが閲覧できます ➡



編集後記



○当ニュースは、本号で第300号を迎えた。創立25周年記念誌に平成9年4月1日発行の第1号が掲載されている。事務局は故小亀輝雄さん。その後20年以上、毎月発行が継続された。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により稲門会活動が自粛され、令和2年は3か月おき、令和3年は1月おきの発行となった。そして、令和4年1月からは毎月発行が再開され本第300号となった。多くの先輩諸氏の努力と思いを引き継ぎ、地道なニュース発行をつなげていきたいと思う。

○本号より、昨年入会された伊藤栄さん(平5理工院)が編集委員として活動してくれることになり、3人体制となりました。多くの新入会員がイベント、同好会などに参加され、会の活動が活性化されてきていることを実感する。(藤井 省 記)

次号の締め切りは1月21日(土)です。皆様の投稿をお待ちしています。

送付先 藤井 省 FAX: 042-393-1403 E-mail: satofj00@jcom.home.ne.jp および

小野浩一 onok@nichirei.co.jp ・ 伊藤栄 isakae0@gmail.com

俳壇

人多し多摩湖の堰の初日の出
コロナ禍も数は変わらぬ雑煮箸

つるし柿音符のごとく並ぶ空
開戦日出撃するは初句会

酒の爛母の加減は父好み
中沢 豆乳

養虫がぼつんと枯れた柿の枝
八木 竜湖

冬蝶の飛ぶを急かせる入日かな
朴枯葉集めて吾が身埋めるべし

子の刻のドラム缶の火初詣
森川 ねここ

白鳥の首天空をつかひきる
山口 泰山

軍服の由来聞いている社会銅
新宿区立八雲公園日向ぼこ

歳時記に「玉打」という季語初ゴルフ
今年また富士道連れに多摩湖畔

井垣 稲雀

赤ひげの名残りの井戸や枇杷の花
出田 邦山

老いてなほ新たな出会ひ初御空
菊田 一平

ひと仕事終へて目薬さす寒夜
楽聖のマフラ―真つ赤雪来るか